様　式　Ｆ－７－２

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

1．機関番号　3 2 6 0 4

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　基盤研究(C)（一般）

4．補助事業期間　平成２５年度～平成２８年度

5．課題番号　2 5 3 7 0 2 0 7

6．研究課題名　近世近代の枠を越えた十九世紀絵入小説史を記述するための書誌学的研究

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
0 0 2 2 6 7 4 7	タカギ　ゲン 高木　元	文学部	教授

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9．研究実績の概要

本研究課題は、幕末明治期に出板され享受された絵入戯作の網羅的な調査を通じて書目を整備して、近世近代を通底する十九世紀という括りで絵入小説史を記述することにあった。

幕末に出されて読み捨てられてきた切附本に関する調査は大体終了している。しかし、長編合巻の続編や明治期草双紙に関しては、全体像を明らかにする程度の整理分類は出来たが、現存本の全てを調査し終わるには至らなかった。各機関における目録の整備が覚束なく、所在情報が不足しているからである。また、広告に掲出してある書目が一体何編まで出ていたかを確認するのは困難で、「何編以降は未見（刊行されていなかったか）」とするしかなかった。しかし、此等の明治期草双紙の書目については、叩き台として公開すべく準備中である。

一方、十九世紀前半に出された「読本」に就いては、フランスのギメ美術館に挿絵だけを蒐て合冊した大量の資料を見出すことが出来、十九世紀末に貸本屋での役割を終えた絵入読本の末路の一端を明らかに出来たのは大きな成果であった。絵入読本の口絵や挿絵を描いたのが浮世絵師であったことと相俟って、折しも欧羅巴で沸き起こったジャポニズムの隆興に乗じて、絵入本の絵だけが輸出されたものと思われる。つまり、十九世紀の絵入本は国外でも享受されるに至った事が明らかになったのである。

最終年度にあたって、本研究の成果の一部ではあるが、「江戸読本－ギメ東洋美術館図書室所蔵 日本19世紀伝奇小説をめぐって－」と題して、フランス国立ギメ東洋美術館における国際ワークショップ「和古書の世界」(2017年2月23日)で招待講演をした。

10．キーワード

(1) 国文学　(2) 十九世紀小説　(3) 絵入本　(4) 草双紙

(5) 読本　(6)　(7)　(8)

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

11.研究発表

〔雑誌論文〕　計（５）件／うち査読付論文　計（１）件　（最終年度分）
／うち国際共著論文　計（０）件　（最終年度分）　／うちオープンアクセス　計（１）件　（最終年度分）

著者名	論文標題
高木　元	『浮雲』書誌

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
日本語研究法〔近代語編〕	無	-	2016	196-213	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし

オープンアクセス
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

著者名	論文標題
高木　元	魯文の滑稽本

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
日本文学	有	65-10	2016	31-41	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし

オープンアクセス
オープンアクセスとしている（また、その予定である）

著者名	論文標題
高木　元	草双紙と演劇 ―戯作と芸能との依存関係―

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
国立劇場 第302回歌舞伎公演解説書	無	302	2017	24-26	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし

オープンアクセス
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

著　者　名	論　　文　　標　　題
高木　元	魯文の報条（一）

雑　　誌　　名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
大妻国文	無	48	2017	69-88	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし
オープンアクセス
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

著　者　名	論　　文　　標　　題
高木　元	『貞操婦女八賢誌』－解題と翻刻－（一）

雑　　誌　　名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
大妻女子大学文学部紀要	無	49	2017	67-102	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし
オープンアクセス
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

〔学会発表〕　計（１）件／うち招待講演　計（１）件　（最終年度分）　／うち国際学会　計（１）件　（最終年度分）

発　表　者　名	発　　表　　標　　題
高木　元	江戸読本 －ギメ東洋美術館図書室所蔵 日本19世紀伝奇小説をめぐって－

学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所
ワークショップ「和古書の世界」（招待講演）（国際学会）	2017年02月23日	フランス国立ギメ東洋美術館（フランス）

（課題番号： 25370207 ）
（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

〔図書〕　計（０）件　（最終年度分）

著　者　名	出　版　社

書　　名	発行年	総ページ数

12.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕　計（０）件　（最終年度分）

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕　計（０）件　（最終年度分）

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

13.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計（０）件　（最終年度分）

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

14.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（１）国際共同研究：－

15.備考

『浮雲』書誌
http://www.fumikura.net/other/ukigumo.html
魯文の滑稽本
http://www.fumikura.net/paper/robunkkokei.html
草双紙と演劇 ―戯作と芸能との依存関係―
http://www.fumikura.net/other/Kusa_Kabuki.html
魯文の報条（一）
http://www.fumikura.net/paper/R_hojyo_1.html
『貞操婦女八賢誌』―解題と翻刻―（一）
http://www.fumikura.net/text/teisou_1.html
基本的に研究成果はセルフアーカイヴとして個人サイトで公開している。また、大妻女子大学で刊行した紀要掲載論文については、大妻女子大学機関リポジトリにても公開予定。